

株 主 メ モ

- 決 算 期 3月31日
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株 主 確 定 基 準 日  
1.定時株主総会 3月31日  
2.利益配当金 3月31日  
3.中間配当金 9月30日  
4.その他必要あるときはあらかじめ公告します。
- 名 義 書 換 代 理 人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 場 所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
(お 問 合 せ 先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL. 0120-288-324 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞  
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ  
(<http://www.musashinet.co.jp/>) に掲載しております。



株式  
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
TEL.03-3546-7711  
<http://www.musashinet.co.jp/>

# Musashi Financial Report 2005

株式  
会社 **ムサシ**  
第84期 事業報告書  
(2004年4月1日～2005年3月31日)



企業理念

『私たちは人とシステムの創造と調和を実現し、健全で信頼される企業を目指し続けます。』

System Creation Company — 価値創造企業

メーカー機能と全国サービスネットワーク。  
ムサシは「システム」でお客様をフルサポートする商社です。

商社機能とメーカー機能を兼ね備えたフルサポート体制。それがムサシグループの独自性です。たとえば、情報・印刷・産業システム機材分野では機器を販売するだけでなく、お客様の業務環境や要望に応じ、最適なシステムを構築し提供しています。また金融汎用・選挙システム機材分野では、市場ニーズをダイレクトに反映したオリジナル製品を開発しています。さらにシステム構築を行うSEや全国をカバーするテクニカルサポート体制も完備。機器やシステムの企画開発から製造、販売、技術サポートまで一貫したサービスを提供しています。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ここに第84期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、変わらぬご支援に心から厚く御礼申し上げます。

さて、景気は踊り場で足踏みの状態とはいえ、先行きの不安要因から、回復にはなお予断を許さない状況が続くものと思われます。

しかしながら、いかなる環境にあろうとも私どもが目指すものは、「常に安定した業績を確保できる体制を確立する」ことであります。そのため、グループ各社の特徴や強みを活かした効率的な経営を行い、既存事業の強化を図るとともに、その周辺分野における新規事業領域の確立と自社開発商品・サービスの拡充に積極的に取り組んでまいります。

また当社の独自性を活かした事業展開を積極的に行うとともに、新しい試みにも果敢に挑戦し、お客様の信頼や安心・満足にお応えできるようムサシグループ各社の企業価値をさらに高めてまいります。

今後とも引き続き格別のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

小林 厚一

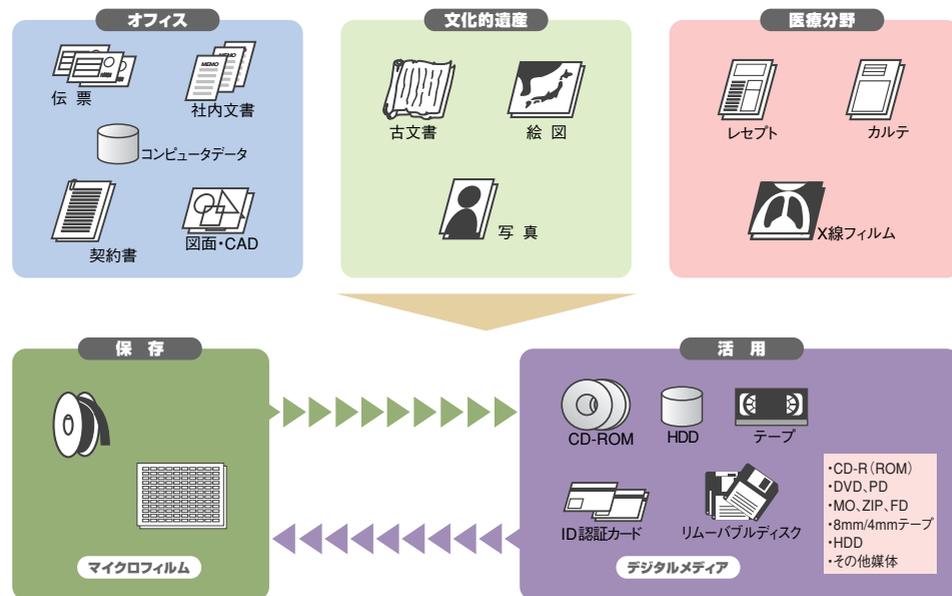


## 情報システム ドキュメントソリューションの領域へ。

さまざまな情報をデジタル化。  
先進のドキュメントソリューションを推進しています。

企業経営のスピード化と高効率化の追求は、情報の電子化とネットワーク化を加速させています。ムサシでは、これまで文書やマイクロフィルムなどで保存されてきた情報資産をデジタル化するドキュメントソリューション事業をグループで推進。実際のメディアコンバート作業やデータエントリー作業からデジタル化した情報のマネジメントまで、包括的なドキュメントソリューションを提供。各種文書や帳票、図面、マイクロフィルムなどのデジタル化による情報活用を広く提案しています。

### ●メディアコンバート



IT化の促進とe-Japan戦略を追い風に、  
今後もアウトソーシング市場は成長が見込まれます。

e-Japan戦略における官公庁と自治体のIT化は、いよいよ本格的な実施段階を迎え、ネットワーク整備と文書などの情報のデジタル化が進展しています。また民間企業においても、さまざまな業界で情報のデジタル化による効率的な活用が広がってきています。これに伴い、当社グループが推進しているメディアコンバートなどのデータベース構築のアウトソーシング市場が急速に拡大しています。

グループ各社による情報加工処理サービス。

ムサシは、イメージ情報管理・活用のための最先端システムを提供するとともに、グループ会社によりメディア変換サービスやデータ入力サービスなどの情報加工処理業務を提供し、ドキュメントソリューション事業を全国展開しています。

### ムサシ・ドキュメントソリューション

各種メディアコンバート	人材派遣
データエントリー	レコードマネジメント コンサルタント
デジタルアーカイブ	文書保管・デリバリー
ムサシ・イービーシー	国際マイクロフォト研究所
ムサシ・ユニシステム	ジェイ・アイ・エム
ムサシ・アイ・テクノ	全国ラボネット

### アウトソーシング市場



イメージ情報活用に最適な最先端機器を取扱い。

膨大なイメージ情報を長期的に管理活用するには、効率的かつ確実なイメージマネージングシステムが不可欠となります。ムサシでは、最先端のイメージ情報管理機器をラインアップ。お客さまに最適なソリューションを提供しています。



ドキュメントアーカイブシステム AR-1000



マイクロフィルムスキャナ SCANSTATIONS RS300



デジタルX線画像検査システム FCR



カラードキュメントスキャナー/フィルマー SD-4000M



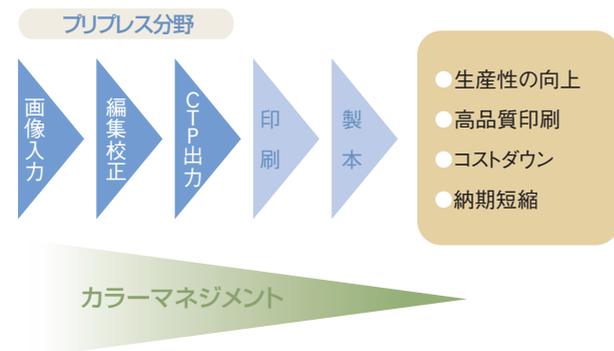
電子帳票システム SEARCHVIEW II

## 印刷システム 印刷のフルデジタル化を加速させる。

デジタル技術とカラーマネジメントが、印刷のフルデジタル化を加速させます。

デジタル技術は、印刷業界に大きな変革をもたらしました。従来の手間と職人的技術を必要とする写植・版下作業や製版作業などをデジタル化することによって工程の簡略化を実現。納期短縮とコスト削減、さらには品質向上を実現しました。また最近では印刷データを直接印刷するプリントオンデマンドも急速に進化。ムサシは、先進的なデジタルプリプレスやオンデマンド印刷の領域におけるソリューションプロバイダーとして、CTPシステム、カラーシステムなどの最先端のデジタル印刷機器を提供。印刷のフルデジタル化を積極的に推進しています。

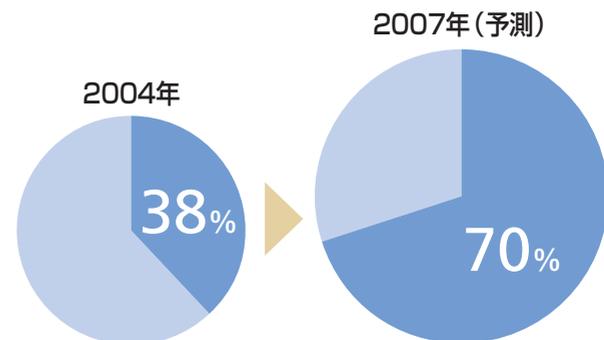
### ●デジタル印刷工程



印刷業界のCTP化率が2007年には70%と予想。

印刷業界では今、CTP (コンピュータ to プレート) 出力機がデジタル印刷機器の主流です。2004年末時点でCTPの普及率は約38%、これが2007年には約70%に達すると業界は予測。ここ1~2年でCTP化やデジタルワークフローなどのフルデジタル化が急速に伸展すると考えられています。ムサシでは、市場のニーズにマッチした印刷のデジタル化を推進。さまざまな印刷会社の環境に応じた最新のデジタル印刷システムを構築し提供しています。

### ●印刷業界でのCTP普及率



幅広いデジタル印刷システム機器をラインアップ。

デジタル印刷システムの領域では、富士写真フィルムのデジタル技術とカラーマネジメントのノウハウが優位性を誇っています。ムサシでは、富士写真フィルム社製のデジタル印刷システム機材を拡販し、印刷工程のデジタル化におけるソリューションプロバイダーとして業績を拡大してまいります。



カラーオンデマンド/バブリッシングシステム  
Color DocuTech 60V



フラットベッドカラーレスキャナー  
Lanovia Quattro



デジタルカラーブルーファーマ  
Luxel SPEEDPROOF 9000



CTPセッター  
Luxel PLATESETTER T-9000 HS

## IPSシステム

低コストでオンデマンド印刷を可能にしたIPSシステム。

IPSシステムとは、ビジネスシーンで需要の多い名刺やハガキなどを低コストで必要な時に必要枚数だけ印刷できるオンデマンド印刷システムです。ムサシではオフセット印刷に匹敵する高品質の簡易印刷システムを開発。一般企業はもとより、文具・印章店やDPEショップ、印刷会社などに幅広く販売しています。



名刺・ハガキ印刷システム  
MP-1200R



マルチカード印刷システム  
MP-5000



名刺・ハガキ印刷システム  
MP-2000ProV

## 金融汎用・選挙システム

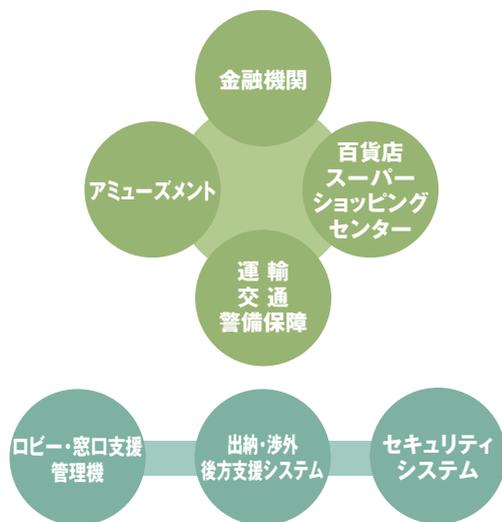
メーカー機能による自社開発商品。  
市場環境の変化に即応。

ムサシの特徴であるメーカー機能を活かしたオリジナル商品分野。特需後の業績向上を実現するため、次代の新製品開発を強化しています。

### 金融汎用システム

新紙幣発行後の市場対応と  
セキュリティ機器の販売を強化。

新紙幣発行後の市場動向に対応した貨幣処理機器やセキュリティ機器の開発を強化するとともに、新たな市場ニーズに対応する商品開発に注力し、市場の拡大を図ってまいります。



### 金融汎用システム

- 貨幣処理機器
- 鍵・カード管理機器
- デジタル監視システム
- 手形発行・管理システム
- 印鑑照会システム

### 選挙システム

- 投票用紙計数機・自動交付機
- 投票用紙読取分類機
- 自然に開く投票用紙
- 投開票集計システム

### 選挙システム

制度改正に対応した機器の開発と  
拡販に注力。

選挙制度改正や市町村合併などの環境変化に即応した投票・開票事務の効率化システム機器やソフトの開発を強化し、選挙業務を総合的にサポートするサービスを提供してまいります。



自書式投票用紙読取分類機  
テラック CRS9



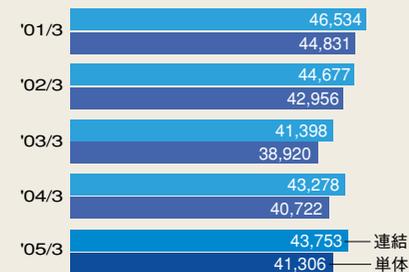
高速紙幣入金整理機  
テラック 860HA



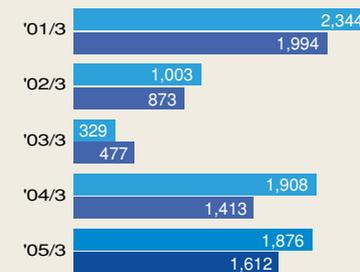
現金自動収納機  
テラック 204NCD

## 財務ハイライト Financial Highlight

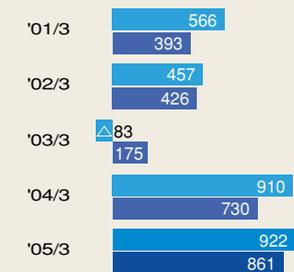
### ● 売上高 (単位: 百万円)



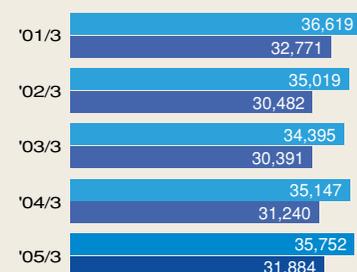
### ● 経常利益 (単位: 百万円)



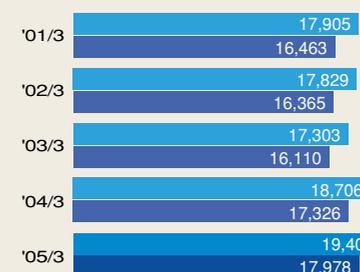
### ● 当期純利益 (単位: 百万円)



### ● 総資産 (単位: 百万円)



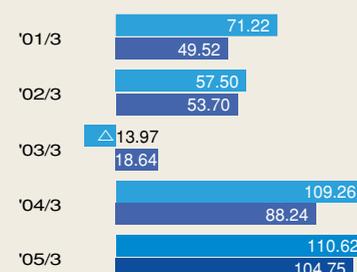
### ● 株主資本 (単位: 百万円)



### ● 株主資本比率 (単位: %)



### ● 1株当たり当期純利益 (単位: 円)



### ● ROE (単位: %)



### ● ROA (単位: %)



当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加や雇用の緩やかな回復が見られましたが、年度後半からは米国・中国経済の減速による輸出の伸び悩みに加え、原油価格の高騰や為替相場の不安定な動向など不安材料が重なり、景気は踊り場を脱しきれないまま推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、昨年7月実施の参議院選挙向け機材や11月発行の新紙幣に対応する貨幣処理機器の販売や改造対策に注力する一方、情報のデジタル化に関連する機材や業務の受託、デジタル印刷機材の拡販に取り組みました。

この結果、当期の連結売上高は437億53百万円（前期比1.1%増）、経常利益は18億76百万円（前期比1.7%減）、当期純利益は9億22百万円（前期比1.2%増）となりました。

当社グループは、各種ドキュメント情報のデジタル化によるデータベース構築を請け負うアウトソーシング事業をグループの中核事業として推進するため、関連各社と連携を取りグループとしての事業効率化と販売力強化を図ってまいります。また、デジタル機器の導入が進む印刷市場に対しては、CTP機材の販売を一層強化し市場での確実なシェアアップを図ってまいります。

また、自社開発商品を取り扱う金融汎用システム機材分野では、新紙幣発行後の市場動向に対応した商品開発を強化する一方、新たなニーズを創造する商品づくりと販売チャネルの拡充を進め、既存市場の拡大と新規市場の開拓に積極的に取り組んでまいります。

紙・紙加工品分野では、オリジナル商品や高付加価値商品の開発と販売を強化し、収益性の向上を図ってまいります。

情報・印刷・産業システム機材

●情報システム機材は、官公庁・自治体及び民間企業におけるIT化の推進により、各種ドキュメントの電子化に関わるスキャナー等機器の販売とデジタル化業務の受託が伸び、前年実績を上回りました。

●印刷・産業システム機材は、印刷工程のデジタル化の伸展により、PS版の販売は減少したものの、CTP機器やCTP版などのデジタル関連機材の販売が伸び前年実績を上回りました。また、IPSシステム機材（名刺・ハガキ印刷システム機材）の販売は前年並みに推移しました。

以上の結果、売上高は281億86百万円（前期比3.8%増）、営業利益は3億91百万円（前期は19百万円）となりました。

金融汎用・選挙システム機材

●金融汎用システム機材は、新紙幣発行に伴う貨幣処理機器の改造や更新が金融機関をはじめスーパーマーケットや宅配業などの流通業界向けにも好調に推移したため、前年実績を上回りました。

●海外営業分野は、中近東及びアフリカ向けに紙幣計数機の販売が伸び前年実績を若干上回りました。

●選挙システム機材は、参議院選挙向けに投票用紙読取分類機や自動交付機、選挙業務ソフトなどの機材販売が順調に推移したものの、前期実施された衆議院選挙と統一地方選挙向け機材需要には及ばず、前年実績を下回りました。

以上の結果、売上高は76億60百万円（前期比2.6%減）、営業利益は11億73百万円（前期比20.3%減）となりました。

紙・紙加工品

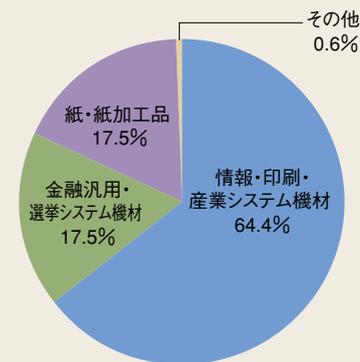
紙・紙加工品は、主力の塗工印刷用紙の販売低迷により前年実績を下回り、売上高は76億74百万円（前期比4.3%減）、営業利益は65百万円（前期比59.6%減）となりました。

その他

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は4億52百万円（前期比5.5%減）、営業利益は1億42百万円（前期比7.7%減）となりました。

なお、当連結会計年度より事業の種類別セグメントを変更したため、前期との比較数値は変更後のセグメントによっております。

●セグメント別売上高構成比



● 連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2005年3月31日現在	第 83 期 2004年3月31日現在	増減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産			
現金及び預金	10,763	9,814	948
受取手形及び売掛金	9,635	9,505	129
たな卸資産	2,441	2,058	382
その他	548	569	△ 20
貸倒引当金	△ 33	△ 33	0
流動資産合計	23,355	21,914	1,440
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	1,621	1,683	△ 61
土地	2,689	2,689	—
その他	636	631	4
有形固定資産計	4,947	5,004	△ 56
無形固定資産	532	727	△ 195
投資その他の資産			
投資有価証券	2,157	2,166	△ 9
差入保証金	3,841	4,373	△ 531
その他	990	1,063	△ 72
貸倒引当金	△ 73	△ 103	29
投資その他の資産計	6,917	7,500	△ 583
固定資産合計	12,397	13,232	△ 835
資産合計	35,752	35,147	605

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2005年3月31日現在	第 83 期 2004年3月31日現在	増減
<b>(負債の部)</b>			
流動負債			
支払手形及び買掛金	10,475	10,428	47
短期借入金	2,607	2,637	△ 30
未払法人税等	500	667	△ 166
その他	1,386	1,306	79
流動負債合計	14,969	15,039	△ 69
固定負債			
長期借入金	179	186	△ 7
退職給付引当金	326	407	△ 81
役員退職慰勞引当金	537	475	62
その他	330	333	△ 2
固定負債合計	1,372	1,401	△ 28
負債合計	16,342	16,440	△ 97
<b>(資本の部)</b>			
資本金	1,208	1,208	—
資本剰余金	2,005	2,005	—
利益剰余金	15,795	15,090	705
その他有価証券評価差額金	403	403	0
自己株式	△ 2	△ 0	△ 2
資本合計	19,409	18,706	703
負債・資本合計	35,752	35,147	605

● 連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2004年4月1日～ 2005年3月31日	第 83 期 2003年4月1日～ 2004年3月31日	増減
売上高	43,753	43,278	474
売上原価	34,400	33,962	437
売上総利益	9,353	9,315	37
販売費及び一般管理費	7,577	7,504	72
営業利益	1,776	1,811	△ 35
営業外収益	182	179	3
営業外費用	82	82	0
経常利益	1,876	1,908	△ 32
特別利益	6	9	△ 3
特別損失	68	182	△ 113
税金等調整前当期純利益	1,813	1,735	77
法人税、住民税及び事業税	853	818	35
法人税等調整額	37	6	31
当期純利益	922	910	11

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2004年4月1日～ 2005年3月31日	第 83 期 2003年4月1日～ 2004年3月31日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	2,140	△ 1,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	199	6	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 221	△ 501	279
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 0	1
現金及び現金同等物の増加額(減少:△)	1,048	1,644	△ 596
現金及び現金同等物の期首残高	9,701	8,056	1,644
現金及び現金同等物の期末残高	10,750	9,701	1,048

● 連結剰余金計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2004年4月1日～ 2005年3月31日	第 83 期 2003年4月1日～ 2004年3月31日	増減
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	2,005	2,005	—
資本剰余金期末残高	2,005	2,005	—
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	15,090	14,334	756
利益剰余金増加高			
当期純利益	922	910	11
利益剰余金減少高	217	154	62
配当金	174	127	47
役員賞与	42	27	14
利益剰余金期末残高	15,795	15,090	705

● 単体貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2005年3月31日現在	第 83 期 2004年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	8,902	8,439
受取手形	2,815	2,663
売掛金	6,225	6,307
商品	2,241	1,586
その他	888	678
流動資産合計	21,073	19,675
固定資産		
有形固定資産		
建物	784	806
土地	1,616	1,616
その他	235	263
有形固定資産計	2,636	2,686
無形固定資産	344	451
投資その他の資産		
投資有価証券	2,135	2,151
差入保証金	3,841	4,373
その他	1,851	1,901
投資その他の資産計	7,829	8,426
固定資産合計	10,810	11,564
資産合計	31,884	31,240
(負債の部)		
流動負債		
支払手形	5,504	5,472
買掛金	4,851	4,728
短期借入金	1,508	1,503
その他	1,355	1,471
流動負債合計	13,219	13,175
固定負債		
退職給付引当金	175	268
役員退職慰労引当金	474	431
その他	36	38
固定負債合計	685	738
負債合計	13,905	13,913
(資本の部)		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金		
資本準備金	2,005	2,005
資本剰余金合計	2,005	2,005
利益剰余金		
利益準備金	197	197
任意積立金		
別途積立金	12,000	11,800
当期末処分利益	2,172	1,715
利益剰余金合計	14,370	13,712
その他の有価証券評価差額金	397	400
自己株式	△ 2	△ 0
資本合計	17,978	17,326
負債・資本合計	31,884	31,240

● 単体損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科目	第 84 期 2004年4月1日～ 2005年3月31日	第 83 期 2003年4月1日～ 2004年3月31日
売上高	41,306	40,722
売上原価	33,800	33,341
販売費及び一般管理費	6,063	6,132
営業利益	1,442	1,247
営業外収益	219	221
営業外費用	48	55
経常利益	1,612	1,413
特別利益	11	7
特別損失	51	105
税引前当期純利益	1,572	1,315
法人税、住民税及び事業税	668	622
法人税等調整額	42	△ 37
当期純利益	861	730
前期繰越利益	1,390	1,048
中間配当額	79	63
当期末処分利益	2,172	1,715

● 利益処分

(単位：百万円未満切捨て)

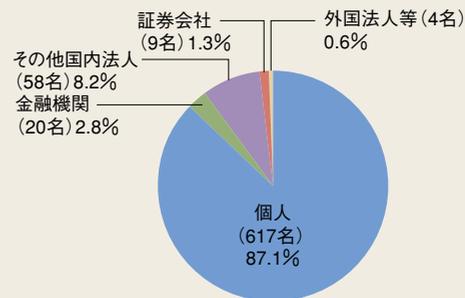
科目	第 84 期 2004年4月1日～ 2005年3月31日	第 83 期 2003年4月1日～ 2004年3月31日
当期末処分利益	2,172	1,715
利益処分額		
配当金	79	95
役員賞与	29	29
別途積立金	1,000	200
次期繰越利益	1,064	1,390

- 会社が発行する株式の総数……………28,920,000株
- 発行済株式総数……………7,950,000株
- 株主数……………708名

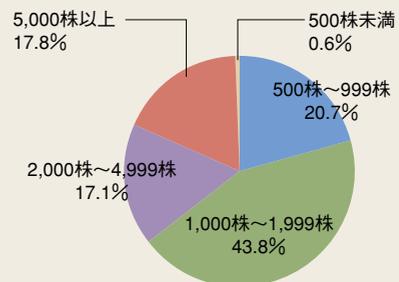
● 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
上毛実業株式会社	1,365 千株	17.19 %
ショウリン商事株式会社	1,150	14.48
ムサシ社員持株会	634	7.98
羽鳥雅孝	360	4.53
株式会社みずほ銀行	360	4.53
ムサシ互助会	299	3.76
小林厚一	284	3.58
ソシエテ ジェネラルバンクアンドトラスト	232	2.92
株式会社三井住友銀行	190	2.39
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	120	1.51

● 株式の所有者別状況 (株主数)



● 株式の所有数別状況 (株主数)



<http://www.musashinet.co.jp>

当社ホームページの「IR情報」のコーナーでも、株主様・投資家様向けの情報を掲載しております。インターネットをご利用の方は、ぜひ上記URLをご参照下さい。



TOPページ

新着情報やトピックスなど様々な情報をタイムリーに発信しています。



商品情報ページ

取扱商品や各種サービスの詳細を紹介しています。



IR情報ページ

ディスクロージャー資料やIR資料、株価情報などをご覧いただけます。

商号 株式会社ムサシ  
 設立 昭和21年12月  
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
 資本金 1,208,500,000円  
 従業員数 419名 (2005年3月31日現在)  
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
 株式会社三井住友銀行  
 関係会社 武蔵エンジニアリング(株)  
 (株)ムサシ・イービーシー  
 (株)ムサシ・ユニシステム  
 ムサシ・アイ・テクノ(株)  
 (株)国際マイクロフォト研究所  
 エフ・ビー・エム(株)  
 武蔵興産(株)  
 (株)武蔵エンタープライズ  
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員 (2005年6月29日現在)

代表取締役会長 都 木 恒 夫  
 代表取締役社長 小 林 厚 一  
 代表取締役専務取締役 羽 鳥 雅 孝  
 常務取締役 伏 脇 忠 昭  
 取締役 小 林 好 男  
 取締役 白 岩 圀 丸  
 取締役 亀 子 博  
 取締役 青 坂 修 司  
 取締役 村 田 進  
 取締役 山 村 隆  
 常勤監査役 中 馬 享 純  
 常勤監査役 川 原 徹  
 社外監査役 田 村 護  
 社外監査役 石 井 哲之介

事業所

- 本 社 東京都中央区銀座8丁目20番36号
- 東 京 支 店 東京都中央区銀座8丁目20番36号
- 札 幌 支 店 札幌市中央区南18条西17丁目1番地
- 仙 台 支 店 仙台市青葉区錦町1丁目10番11号 (新平和ビル)
- 北 関 東 支 店 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目2番地 (JA共済埼玉ビル)
- 東 関 東 支 店 千葉市中央区栄町42番11号 (日本企業会館)
- 神 静 支 店 横浜市神奈川区栄町1番地1 (アーバンスクエア横浜)
- 名 古 屋 支 店 名古屋市市中村区名駅2丁目35番22号 (メビウス名古屋)
- 大 阪 支 店 大阪府東大阪市長田中3丁目6番1号
- 中 四 国 支 店 広島市中区本川町2丁目6番11号 (第7ウエノヤビル)
- 福 岡 支 店 福岡市博多区店屋町6番25号 (第6上村ビル)
- 新 潟 営 業 所
- 茨 城 営 業 所
- 静 岡 営 業 所
- 北 陸 営 業 所
- 岡 山 営 業 所
- 福 島 技 術 事 務 所
- 高 崎 技 術 事 務 所
- 多 摩 技 術 事 務 所
- 成 田 空 港 技 術 事 務 所
- 京 都 技 術 事 務 所
- 神 戸 技 術 事 務 所
- 四 国 技 術 事 務 所
- 松 江 技 術 事 務 所
- 北 九 州 技 術 事 務 所
- 長 崎 技 術 事 務 所
- 熊 本 技 術 事 務 所

